

【プログラム9：子育てすごろく～中高Version～】

☆ねらい：すごろくを使い自分を紹介しあうことを通して、お互いを知り、思春期の子どもをもつ親の思いを共有したり豊かな人間関係を築くきっかけとしたりする。

《プログラムの概要》

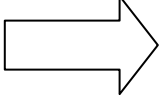
キーワードの例	コミュニケーション
時 間	20分
人 数	何人でもできる。
活動形態	グループ（1グループは4～6名がよい）
準備物	サイコロ、すごろくシート、（各グループ数）、コマ（人数分）
主な活動	①すごろくを使って自己紹介をする。 ②感想や印象に残った意見を、他のグループの人に紹介する。
気を付けること	○可能な範囲で話すこととよいことや、話せないときは、「パス」してもいいこと等を説明し、安心感をもって参加してもらおうようにする。 ○全員が同じように話すことができるようにする。（例：話す時間を1回約30秒程度と決める等）
備 考 （アレンジ等）	○書く活動はないので、座談会形式でもできる。
他プログラムとの関連	スマイル（小学生期）編：No11トーク&トーク～すごろくde紹介～

【プログラム9：子育てすごろく～中高Version～】

時間	形態	講座の流れ
1分	全体	<p>1. ねらいを確認する。 【1分】</p> <p>[キーワード] ○コミュニケーション</p>
17分	<p>全体</p> <p>全体</p> <p>グループ</p> <p>グループ</p> <p>全体</p>	<p>2. すごろくを使って自己紹介をする。 【14分】</p> <p>(1) 方法を知る。〈1分〉</p> <p style="padding-left: 20px;">○サイコロの出た目の数だけコマを進め、止まった場所の話題を話す。</p> <p>(2) 注意事項を確認する。〈1分〉</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>○可能な範囲で話す。</p> <p>○場合によっては、「パス」をしてもよい。</p> <p>○1人の話が長すぎないようにする。(1回の発言は30秒以内で)</p> <p>○誰かが話しているときは、しっかり聴く。</p> <p style="padding-left: 20px;">(相手を見る、うなずく、微笑む 等も含む)</p> <p>○誰かが話し終わったら、拍手をする。</p> </div> <p>(3) グループごとに始める。〈12分〉</p> <p style="padding-left: 20px;">・活動の時間を決め、その時間で進んだ所までとする。</p> <p>3. 感想や印象に残った意見を他のグループにも紹介する。 【3分】</p>
2分	全体	<p>4. まとめ 【2分】</p> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>いろいろなことを紹介し合うことで、お互いが身近に感じられるようになったのではないか。同世代の子どもをもつ親は喜びも悩みも共有できる。一人で抱え込まないで、これを機に、参加者のつながりを深めていこうとすることが大事だ。</p> </div>

スタート

まずはお名前を。



しよっ

3つ紹介

ズムよく

べ物をり

好きな食

は？

似合う色

色・自分に

好きな

ところは？

ってみたい

今一番、行

しよっ！

人と握手を

グループの

ものは？

今、ほしい

は？

望むこと

子どもに

声を出して
笑ってみよ
う！

今、一番や
りたいこ
とは？

10代の頃
の思い出
は？

本日一番
の笑顔を
見せよ
う！

10年後の
あなたは
どうして
る？

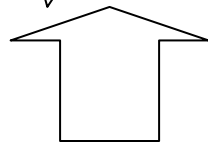
ストレ
ス発散
法は？

幸せと感
じるとき
は？

10年後の子
どもはどっし
てる？

話題の中心は、
「あなた」です。

ゴール



ラッキーチャンス！
誰かが にとまっ
たら、全員話せるよ。

夕食時も子ども
は携帯電話を離
しません。あなた
はどうする？

子どもが異性と二
人で見るところを
見ました。そのとき
何と言った？

子どものこ
とで、嬉し
かったこと
は？

子どもが内緒
でピアスをあ
けていました。
あなたは何と
言う？

最近、嬉し
かったこと
は？

宝くじにあ
たったら？

子どもの頃
の夢は？

人生で最も
こわかった
思い出は？

自分が頑
張ってい
ると思う
ことは？

子ども(家
族)に一番
言いたい
ことは？

子ども
のこ
とで
気に
なる
こ
とは？

苦手な食
べ物は？

ラッキー
2つ進む。
あとの人は
拍手を！